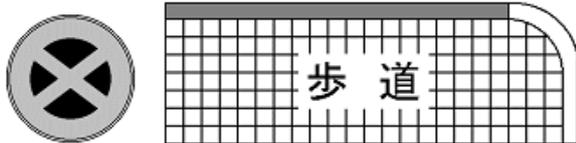


訪問リハビリ中の駐車禁止・路上駐車について

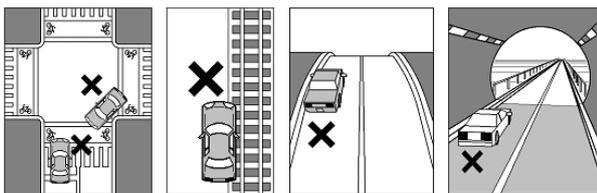
1. 停車及び駐車を禁止する場所

車両は、道路標識等により停車及び駐車が禁止されている道路の部分及び次に掲げるその他の道路の部分においては、法令の規定若しくは警察官の命令により、又は危険を防止するため一時停止する場合のほか、停車し、又は駐車してはならない。ただし、乗合自動車又はトロリーバスが、その属する運行系統に係る停留所又は停留場において、乗客の乗降のため停車するとき、又は運行時間を調整するため駐車するときは、この限りでない。

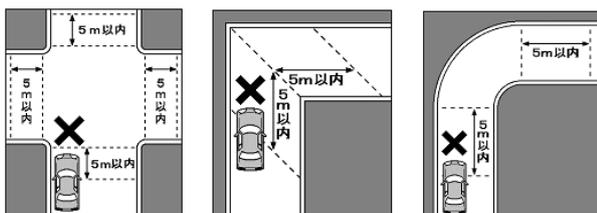
1. 駐停車禁止標識や道路標示（黄色の実線）のある場所



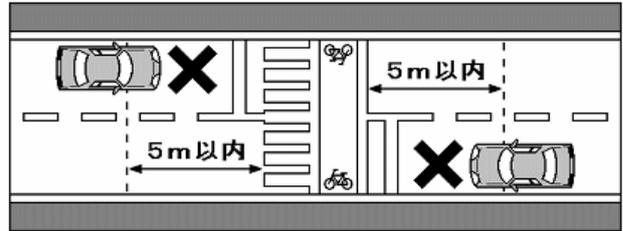
2. 交差点、横断歩道、自転車横断帯、軌道敷内、坂の頂上付近、勾配の急な坂、トンネル



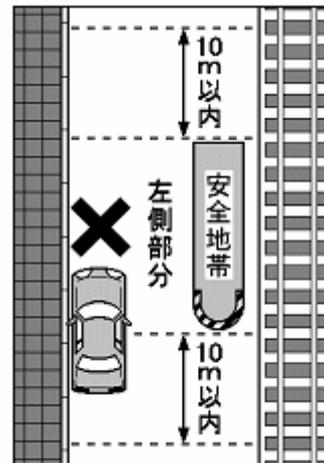
3. 交差点の側端又は道路の曲がり角から5メートル以内



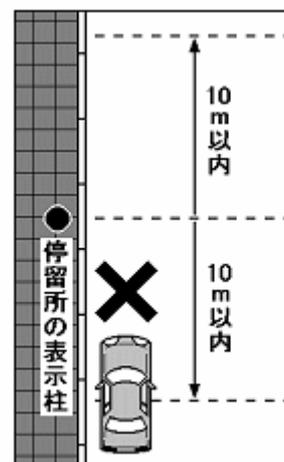
4. 横断歩道又は自転車横断帯の前後の側端からそれぞれ前後に5メートル以内



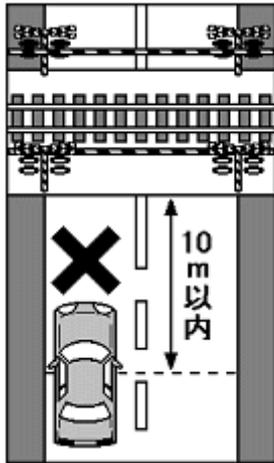
5. 安全地帯の左側とその前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内



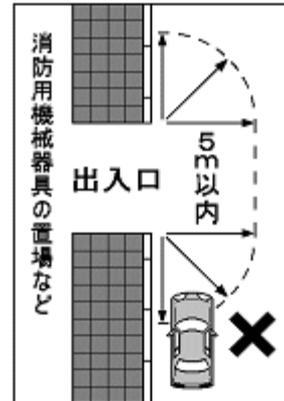
6. バス、路面電車の停留所（停留場）の標示柱（標示板）から10メートル以内



7.踏切およびその前後の側端からそれぞれ前後に
10メートル以内

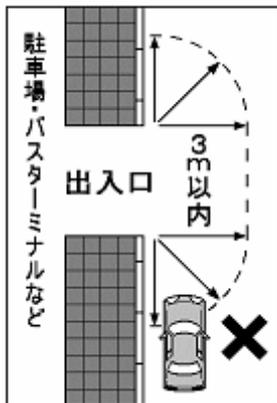


3.消防用機械器具置場や消防用防火水槽の側端又は
その出入り口から5メートル以内

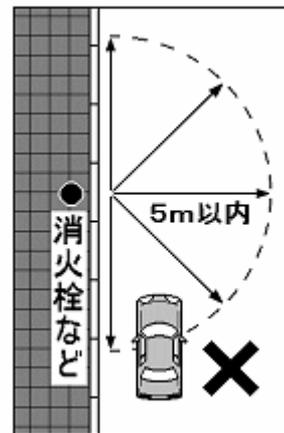


Ⅱ. 駐車を禁止している場所（道路交通法第45条参照）

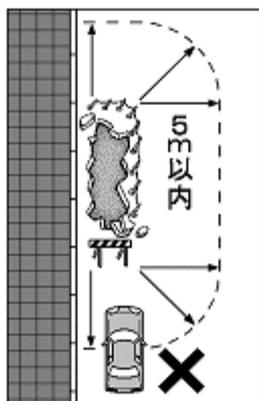
1. 駐車場や車庫などの自動車用の出入り口から
3メートル以内



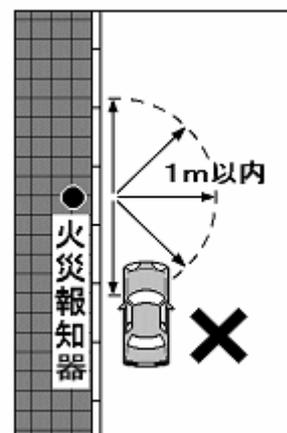
4. 消火栓や指定消防水利の標識および消防用防火水
槽の吸水口や吸管投入孔から5メートル以内



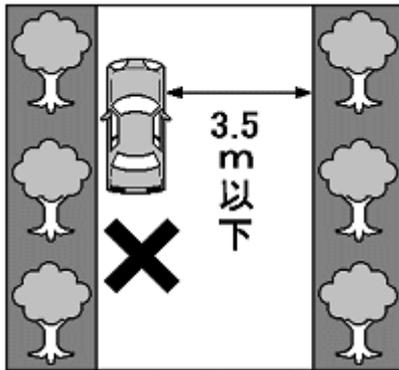
2. 道路工事区域の側端から5メートル以内



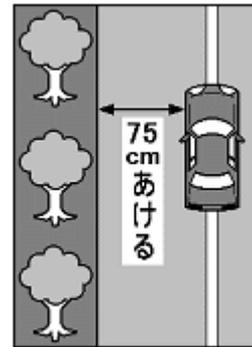
5. 火災報知器から1メートル以内



6.車両を駐車した場合に、車両右側の道路上に
3.5メートル以上の余地がない場所

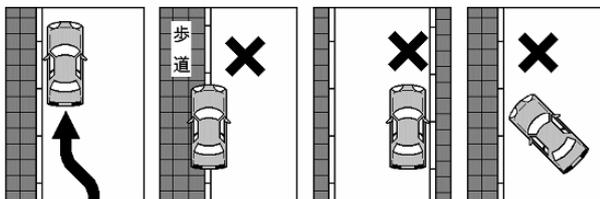


3.幅75センチ以上の広い路側帯は車両を入れて駐
車できますが、この場合、車両の左側に75センチ
の余地を空けてください。

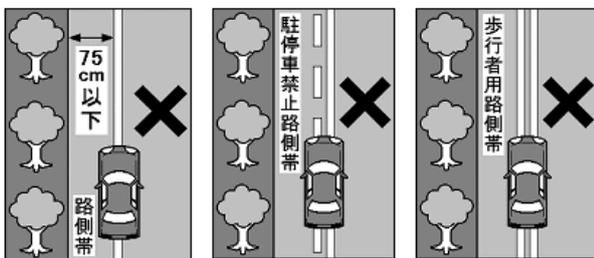


Ⅲ. 駐車や停車の方法に従わなければ ならない場合

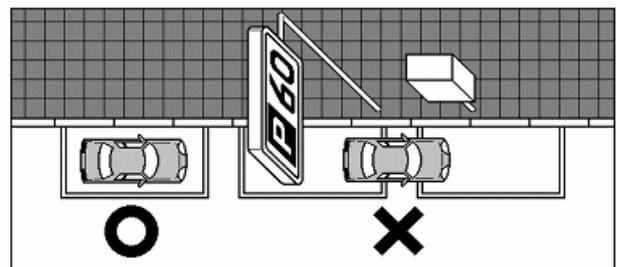
1.車両を駐車する時は、道路の左側端に沿ってくだ
さい。（歩道上駐車、右側駐車、斜め駐車は違反に
なります）



2.幅75センチ以下の路側帯、駐停車禁止路側帯
（実線と破線2本）、歩行者用路側帯（実線2本）
には駐停車できません。



4.道路標示で駐停車の方法が指定されているとき
は、その方法に従ってください。



Q.道路に路側帯も歩道もない場合の駐車は？

A.道路に歩道や路側帯がない場合は、道路の左端に停め
る。ただし、自動車を駐停車させた場合、右側に3.5m
以上のスペースが空けれない場合は、駐停車禁止の標識
がなくても車を駐車してはいけません。

「できる限り道路の左側端に沿い」→基本は左端。

例外として、

- ・歩道がある道路では、車道の左端に沿って止める。
(歩道に沿って)
- ・路側帯の幅が75cm以下の道路では、車道の左端に
沿って止める。
- ・75cm以上ある路側帯では、路側帯に入り左端に0.75
メートル以上あけて止める。(但し、路側帯の幅が広く
ても、2本線の白い実線(歩行者用路側帯)と破線と実
線(駐停車禁止路側帯)のあるところでは路側帯に入っ
てはいけません)